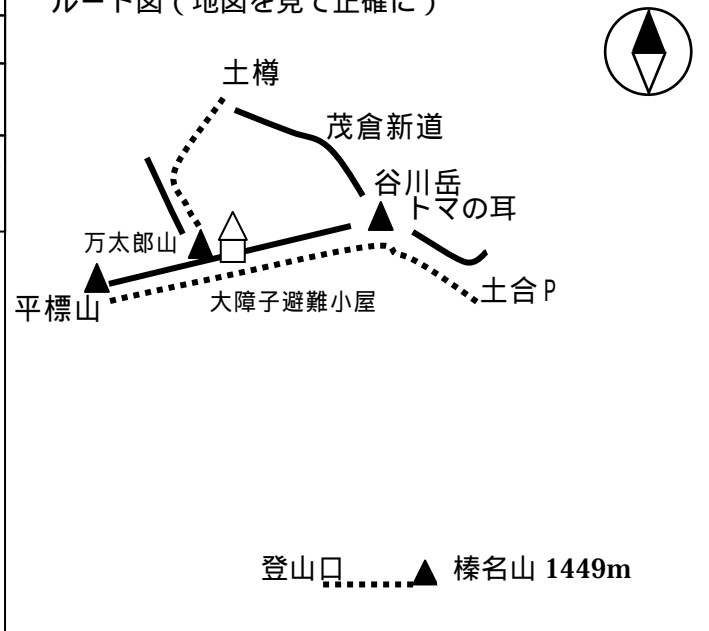


6月度 例会 個人 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内 藤田(健) 塚本
		報告日	7/12		
山域	谷川連峰	山行日	06年 06月 30日(金) ~		
山名	谷川岳・榛名山		06年 07月 02日(日)		

配布先	ルート図(地図を見て正確に) 	コースタイム(天候:天気図記号)	
集会:12		6/30 晴れ	7/1 雨のち曇り
山行:1		6:15 巖剛新道登山口 (マチガ沢出合手前)	6:05 避難小屋出発
原紙:集会担当者		8:45 ラクダのCOL 10:40 肩の小屋 11:00 トマの耳(頂上) 1963.2m 13:15 大障子非難小屋	7:17 万太郎山 8:30 (1610m) 10:40 林道出合 11:40 土樽駅
			7/2 曇り
			6:40 登山口 7:20 榛名山頂上 (1449m) 8:20 登山口

山行報告 前夜に刈谷を出発。中央自動車道、上信越自動車走り水上 IC で降りて、すぐにある道の駅に車を止め仮眠をする。朝方5時に起きて移動、巖剛新道登山口に車を置いて出発する。上を見上げるとオキの耳、トマの耳が見えている。樹林の中を進んで行くが、虫が寄ってきて頭の上を飛び交うのが気になる。樹林帯を過ぎると岩場が見え始め、虫もいなくなりホッとすする。やがて鎖場を過ぎると西黒尾根との出合いのラクダのCOLに着く。ここからは天神平も見え、稜線上を気分よく歩いていく。肩の小屋付近には残雪があり風が涼しく気持ちいい。ここからトマの耳を往復して万太郎山方面に向かう。ここからは笹原の尾根を進むが、この時期いろんな花が咲いている。歩きながらの眺めも良く、緩やかなアップダウンを越え、カマボコ型の大障子避難小屋に到着する。振り返ると谷川岳がはっきり見える。行動予定は越路避難小屋だが変更して、ここで宿泊することにした。夕方頃に1パーティ3人が入ってきた。翌朝、小雨の中を出発、万太郎山に向かう。まもなく雨は止んだが、ガスの中で視界は好くない。万太郎山から吾策新道を抜けて土樽に下山することにした。途中、登山道が草に覆われていて不明瞭な所があったが、これを過ぎると、しっかりした登山道で樹林の中を下り登山口に到着した。土樽からJRで土合に戻り車を回収、2km先にある有名な一ノ倉沢を見学、そして、宝川温泉で汗を流した後、榛名山の麓に移動する。翌日、40分で登頂できる榛名山(200名山)に登るが曇りで景色は見えない。帰路は岡谷ICから高速自動車道に乗り刈谷に帰った。

リーダー所見 梅雨の時期で天候が心配であったが初日は景色もしっかり見ることができて、谷川岳の絶景を楽しむことができた。登山コースも幾つかあり、日帰りでも登れる山であるが、山の中で泊まることで楽しさが増してくる。また一ノ倉沢の景観に迫力を感じた。そして、帰りに寄った温泉でのんびり気分を味わった。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



確認 (リーダー)	竹 06/07/05 内
作成 (報告者)	竹 06/07/05 内